

2021年7月1日から2022年5月31日に
当院で膀胱癌に対するマーカー留置下放射線治療を受けた方へ

研究実施のお知らせ

研究の題名：膀胱癌に対するマーカー留置下限局照射の初期経験

研究期間：医学域長の許可日～2023年3月31日

研究責任者：山梨大学医学部放射線医学講座 教授 大西 洋

山梨大学医学部では、上記課題名の研究を行います。「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」（令和4年4月1日施行）に基づき、加工された情報（診療録等）の研究利用について、以下に公開いたします。

【研究の目的と意義について】

(1) 研究の目的

根治的膀胱癌治療において腫瘍の周りの膀胱の壁にマーカーを埋め込んで腫瘍の位置を分かりやすくした状態で、腫瘍にだけ照射する治療（マーカー留置下限局照射）を行った患者さんの治療の内容、診療の経過を調べて、予定治療が行えたか、副作用はどうであったか、治療を行う上で何か問題がなかったかを検討します。

(2) 予想される医学上の貢献及び意義

マーカー留置下限局照射について予定治療が行えたか、副作用はどうであったか、治療を行う上で問題になった点を明らかにすることで、今後の膀胱癌に対する最善の治療方針を検討することができるようになります。

【研究の方法について】

マーカー留置下限局照射を受けた患者さんの診療録や検査結果を見直して予定治療が行えたか、副作用はどうであったか、治療を行う上で何か問題がなかったかを検討します。

【利用する情報について】

〈対象となる患者さん〉

2021年7月1日から2022年5月31日の間に膀胱癌でマーカー留置下限局照射を受けた患者さんです。

〈利用する情報・項目〉

情報：診療録情報、検査データ、放射線治療の記録

なお、この研究に必要な臨床情報は、すべて診療録、放射線治療の記録より取り出しますので、改めて患者さんに行っていただくことはありません。

【情報を利用する者の範囲について】

この研究において取得する情報の利用者は、本学医学部放射線医学講座の研究者のみです。

【情報の管理について責任を有する者】

国立大学法人山梨大学

【個人情報の取扱いについて】

収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた倫理指針（「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」）に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

【利益相反について】

この研究のために、企業等からの資金提供はありません。したがって、この研究の計画、実施、発表に関して可能性のある利益相反は存在しません。また、研究責任者及び分担研究者は、利益相反について本学医学研究利益相反審査委員会に申告し、適切な実施体制であることの審査を受けております。

【お問い合わせ等について】

この研究へのご協力は、患者さんご自身の自由意思に基づくものです。この研究への情報提供を希望されないことをお申し出いただいた場合、その患者さんの情報は利用しないようにいたします。ただし、お申し出いただいた時に、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合には、完全に廃棄できないことがあります。情報の利用を希望されない場合、あるいは不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なく下記連絡先まで、メール又は FAX にてご連絡ください。この研究への情報提供を希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。

また、患者さんや代理人の方のご希望により、この研究に参加して下さった方々の個人情報および知的財産の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しすることができます。希望される方は、以下までメール又は FAX にてご連絡ください。

〈お問い合わせ等の連絡先〉

山梨大学医学部放射線医学講座

医員 平鍋 邦洋

メールアドレス : khiranabe @yamanashi. ac. jp

FAX : 055-273-6744